

～摂食嚥下評価者研修～

6/29に摂食嚥下WG主催で看護師対象に、第5回摂食嚥下評価者研修を開催しました。

これまで5回の研修開催を経て、院内で**摂食嚥下評価者研修修了看護師(eNs)**は**97**名となりました。
今回は、摂食嚥下研修内容についてご報告いたします。



★研修目的

- ・摂食嚥下スクリーニング、評価の看護ケアに必要な知識・技術を習得する
- ・早期経口摂取を目指し、嚥下評価が実施できる看護師を育成する

* 研修を終えて、事後課題にクリアすると、院内認定の摂食嚥下評価者研修終了看護師(eNs)として登録されます

5.ギャッジアップ後の頭頸部のポジショニング



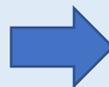
NST専門療法士：浅田主任と石川STの講義で 栄養評価・摂食嚥下のメカニズム・解剖生理はもうバッチリ

本来であれば研修内でポジショニングを実践しますが
コロナ禍の会場都合上、ベッドでの実践ができなくなりました

それでも、できることをやる！
摂食嚥下WGのメンバーで事前にポジショニング動画を撮影！
参加者はポジショニングもバッチリできます！
動画はEPOCHで観られるので、だれでも4分で学習できますよ！



嚥下食 食べやすい？ 食べにくい？ いざ試食！



少しの工夫で
誤嚥予防につながる！

ゼリー粥をそのまま患者に提供すると・・・？
そのままだと、スプーンで大きな塊をすくって口に入れてしまう・・・はい、誤嚥！
介助者がスプーンで混ぜてあげると、一口で食べやすくなることを知りました



疑問や実務で困っている事について
怒和師長・石川STがご指導してくれました

実技練習で評価方法を学びました

嚥下評価が必要な患者に対して、eNsが実践している
評価方法を実践しました

反復唾液嚥下テスト、改訂水飲みテスト、とろみの
つけかた、フードテストについて学び、これから現場で
実践していきます！参加者の皆さん、よろしくお願いま
す！

摂食嚥下WGでは、入院患者に安心・安全な食事提供ができること、入院による嚥下機能低下を予防し
入院前の生活が再獲得できることを目指し、eNs育成に取り組んでいます。
eNsが中心となって、各部署ホワイトボードに、その日の嚥下担当者を掲示しています。
いつでもお声かけください。